

航空自衛隊入間基地に関する 令和5年度予算案の主要事業について

1. C-2輸送機の取得・配備等

(1) C-2輸送機の取得

運用開始から40年以上が経過した現有のC-1輸送機の減勢に対応するとともに、航空輸送能力を向上させるため、C-1輸送機の後継機としてC-2輸送機の導入を進めています。



令和5年度予算案においては、

2機のC-2取得に係る経費(約597億円)を計上しています。

(2) C-2輸送機の受入れ施設等の整備

令和5年度予算案においては、整備格納庫及び燃料貯蔵施設等の整備に必要な経費として約81億円を計上しています。

2. 宇宙設置型光学望遠鏡(SDA衛星)関連施設の整備

(1) 宇宙設置型光学望遠鏡(SDA衛星)の概要

宇宙空間は、測位、通信・放送、気象観測等に活用され、国民生活にとって重要な役割を果たしてきただけでなく、安全保障の基盤としても、情報収集や指揮統制等に活用され、死活的に重要な役割を果たしています。

このような状況を踏まえ、防衛省では我が国の静止衛星の周辺を飛しょうするデブリ及び衛星等の特性を把握するため、宇宙設置型光学望遠鏡(SDA衛星)を取得し、令和8年度から運用を開始することを目指しています。

(2) 宇宙設置型光学望遠鏡(SDA衛星)関連施設の整備

令和5年度予算案においては、SDA衛星の関連施設の整備に必要な経費として約3億円を計上しています。

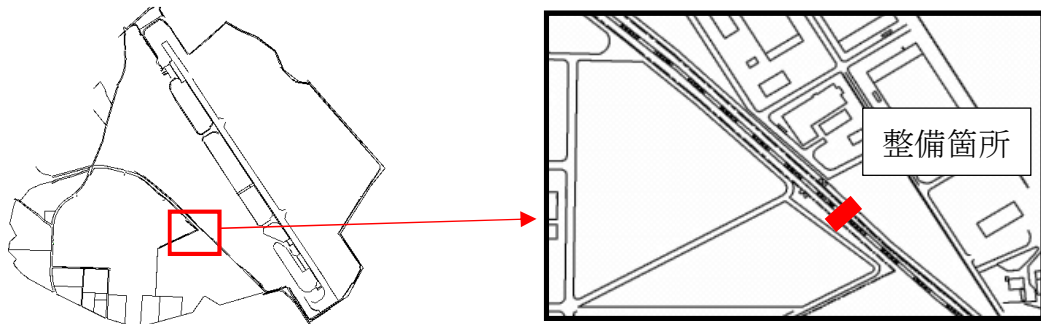
※ SDA (Space Domain Awareness) : 衛星など宇宙物体の位置や軌道等を把握すること (SSA (Space Situational Awareness)) に加え、衛星の運用状況や「意図や能力」を把握すること。米国等も現在はSDAを使用している。

3. 災害対処拠点地区の整備等

災害対処拠点地区の整備

防衛省は、大規模災害等への対応の一環として、災害対処拠点地区については、令和3年度末に整備完了したところです。

令和5年度予算案においては、災害対処能力の向上に必要な経費として約5億円を計上しています。



整備予定地

4. 入間基地の定員の増減

入間基地の定員については、第2輸送航空隊のC-1用途廃止による所要の要員の整理等、令和5年度予算案における各種事業等により、以下のとおりとなる予定です。

令和4年度末	令和5年度末	増▲減
約4,480名	約4,460名	▲約20名

※ 四捨五入により合計が一致しない場合があります。